

令和6年度(5年度実績) 総合評価書 <施設名 多治見市市民活動交流支援センター>

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	1. 管理運営業務 (1) 受付業務 (2) センターの維持に関すること (3) その他必要な管理運営業務 2. センターの事業運営 (1) 情報の収集・提供及び広報事業 (2) 相談業務 (3) 行政と団体との中間支援組織としてのコーディネート業務 (4) 調査提言機能 (5) 行政との連携 (6) 市民や市民団体向けの交流事業、啓発事業の企画・運営(年3回以上) (7) 市民ニーズに応じたセンター運営

4. 採点表								
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	0	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間) 目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は、一律8点とする。 平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。 平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)	【評価対象外】		
		②利用人数	10	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は、一律8点とする。 平均値比(124.98%)=利用人数(延べ6,008人)÷上記(2)適用(4,807人:9,614÷2)	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。 平均値比(124.98%)=利用人数(延べ6,008人)÷上記(2)適用(4,807人:9,614÷2)	105%以上 5点	利用人数 R5年度 6,008人 前年比 993人 R4年度 5,015人 前年比 416人 R3年度 4,599人 前年比 ▲ 784人 R2年度 5,383人 前年比 ▲3,491人 R1年度 8,874人 前年比 111人 30年度 8,763人 前年比 1,132人 29年度 7,631人 前年比 308人 28年度 7,323人 前年比 ▲ 550人 (前指定管理年 28・29・30・R1・R2年度) ※「①施設の利用率」を評価対象外としたため、当該項目を10点満点評価とする。	10点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点 1. 情報の収集・提供及び広報事業 ・ほとと多治見だよりを発行(年4回6・9・12・3月)、登録団体への送付、公民館・市内施設・小中高校などに配布 ・HPでの情報発信(週2回程度更新)。ほとと多治見の活動、登録団体のイベント、補助金・助成金等の情報を提供 ・展示スペースを活用した市民活動等に関する情報発信(4回) ・チラシ、ポスターに二次元コードを貼付。⇒ HPからの講座申込が増加。合わせてHPからの活動に関する問合せも増加。 2. 登録団体の情報更新(年1回) ・令和5年度末の登録団体数 180(うち、NPO法人37)。内訳は、新規9(7) 活動停止・休止9(4) 3. 行政との連携 ・くらし人権課 期毎の打ち合わせ(年2回)、男女共同参画普及展示(年2回)、まちづくり活動補助金PR、相談対応、情報共有 ・環境課 ダンボールコンポストの取次販売を実施 ・企画防災課 「災害ボランティア連携会議」に参加。「自然環境の変化に伴う災害の増加と対策」展示(環境フェア)の資料提供協力 ・社会福祉協議会 防災ボランティア連携会議の開催 ・子ども支援課 公民館での新規の活動者への対応方法に関する打合せ、対応マニュアルの点検を文化スポーツ課とともに実施。 ・近隣の市民活動センターとの連携・情報交換 ⇒ NPO専門相談・NPOカフェ・市民活動交流会の開催 市民活動団体や個人からの問合せに関する相談・情報共有活動の実施。 4. 相談・コーディネート業務 ・NPO専門相談実施(4・5・9・11・12・2・3月の計7回、26人参加) ・NPOカフェ開催3回開催 座学3回(交流会1回を含む) 合計35人参加 ⇒「まちづくり活動補助金活用による活動の活性化」「仲間を集めるという課題に対するアプローチ」をテーマとした活動を実施。 「まちづくり活動補助金エントリーサポート」、「活動する仲間の作り方」「心が通う話し方」の各種講座を開催する。 ・市民活動窓口相談 72件 ・多治見市まちづくり活動補助金窓口相談 12件 5. 調査・提言機能 ・市民活動団体の現状把握・支援のため市民活動団体の現場活動訪問17件(オンライン参加も含む) 6. 市民活動を支える交流・啓発事業 ・市民活動団体交流会(活動紹介:IMA自立を考える会「障害者の自立を学ぶ活動について」 交流会参加者22名) 7. 市民ニーズに応じたセンター運営 ・「多治見おもちゃ病院」活動サポート(年12回190人) ・ダンボールコンポストの普及支援 ・MOZAIC(モザイク)の普及支援 8. 認知度向上・賑わい事業 ・来館者との接点を広げ、賑わいを創出するとともに、認知度を高めるため、おかげさスペースを設置。 ・ほととマーケットを実施し、寄付金(50,000円)はうながっぱ寄付金へ全額寄付 ・1階ロビーでの団体情報発信(全国ウクライナの子どものための絵画巡回展示、NPOシニアネット多治見活動紹介展示) ・書き継いハガキの寄付活動(4,615円)および古切手・ペルマーク収集の寄付活動	仕様書以上 12点		12点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点 1. 市民活動サポート事業 ・「語り部に聞く戦争の話 子どもが伝える多治見空襲」7/8(31人) ・「子どもの語り部」による多治見空襲をはじめとする戦争研究に関する発表。若い語り部の参加は全国的な課題となっているが多治見市では2名の参加を得ることが出来ている。長年取り組んできた成果であると考えている。 ・「つながれプロジェクト」の第1回として「市民活動団体のネット活用術」を開催。 市民活動団体を講師として団体間連携を広げていくことを目的に企画・実施。 この講座から「スマホで作る市民活動団体のためのPR動画作成講座」へとつながる流れを意識して事業の構築を行った。 ・公民館との連携による市民活動団体支援を展開 (旭ヶ丘公民館・市之倉公民館にて2事業実施) 市民活動団体の活動活性化を目的に、公民館を介して地域とつながっていく活動として実施。 ・市内の防災活動団体に市外での活動場所を紹介。⇒市民活動団体の活動範囲を「つなげる」活動で広げる。 2. スキルアップ講座 ・「スマホで作る市民活動団体のためのPR動画作成講座」(全2回:17名) ネット活用方法を学びたいという市民活動団体の声に応じ、「動画を使ったPR」に関する講座を企画・実施。 参加者全員が2回の講座で動画を作成し、発表できる状況になった。 ・「思いが伝わるプレゼンテーション講座」(全1回:3名) 多治見市まちづくり活動補助金の申請時などに活用できるプレゼンテーションについて学ぶことを目的に実施。 話の組み立て方の把握に役立つことが出来た。 3. 共催事業 多治見市学習館との共催により「自衛隊災害支援活動写真展」を開催。 ほとと多治見はこれに関連して防災普及啓発事業「教えて自衛官！被災地支援のリアルな現場」(全1回:14名)を開催。 4. 市民活動団体との連携事業 ・防災ボードゲーム「まるで防災」を市民活動団体と協力して開発。 令和4年度に実施した市内外の防災活動団体と協力して実施した事業「防災フェスタin地球村」の開催にあたり、防災を楽しみながら学べるようボードゲームを活用して普及啓発していくことを市内でボードゲーム体験会を行っている団体に提案。この提案に賛同した団体がゲームを開発、令和5年度に完成させた。完成をうけてほとと多治見では、公民館や学校での普及につながる活動を展開した。 5. 認知度向上への取り組み 高校生のボランティア活動の発表が行われる「インターアクト飛騨・中濃・東濃グループ協議会」にて20分の講演を行う。 「ボランティアの現状と課題について」と題して発表を実施。ほとと多治見へのこうした依頼は初めてであり、様々な活動を展開してきた成果であると考えている。	期待以上 14点		14点	
		①清掃		受付開始前清掃を毎日実施。(新型コロナウイルス対策として机等を消毒。お客様使用後等についても実施。)	適正(普通) 2点	適正に実施している。		
		②保守・点検	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点)	ヤマカまなびパーク保守点検計画に基づき、施設管理担当が毎日実施	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに適正に管理している。		

2	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	③保安・警備	10	②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	ヤマカまなびパーク保安警備計画に基づき、保安警備担当が毎日実施	適正(普通) 2点	適正に実施している。	10点	
		④小規模修繕		特になし	適正(普通) 2点	該当なし			
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		設備備品点検および目視による天井・壁・床の安全点検を毎日実施。 危険または異常と思われる箇所が発見された場合は施設管理担当に連絡し、改善を図る。	適正(普通) 2点	日常業務の中で、随時危険箇所の点検を行っている。			
	(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書は鍵のかかる書庫にて保管、個人情報を含むものには細心の注意を払い、目的外に使用しないよう管理を徹底。 必要のなくなった個人情報が含まれる文書は速やかに適切な方法により廃棄。	適正(普通) 2点	鍵付きキャビネットで文書を保存し、個人情報に最新の注意を払っている。絶えず整理整頓し、分かりやすく、見やすいファイリングを実施している。	10点	
		②環境への配慮			エコ商品の購入、内部資料印刷時は裏紙を使用、不必要な箇所は消灯するなどの省エネルギー活動を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施している。		
		③バリアフリー			車椅子やベビーカーを使用されるお客様の妨げとならないよう椅子の整理整頓など安全な動線確保への取組みや、「心のバリアフリー」として笑顔での声掛けを実施。	適正(普通) 2点	十分なスペースを確保し、安全な動線確保を行っている。		
		④備品管理			故障破損点検、備品シール貼付け、備品写真を掲載した備品台帳での管理の徹底。丁寧な使用により長く使用できるための取組みも実施。	適正(普通) 2点	備品写真を備品台帳に掲載することにより、市の備品と指定管理者の備品の管理が徹底されている。		
		⑤個人情報保護			(公財)多治見市文化振興事業団の方針に従い、取り組みを実施。 ・必要な情報は適切な方法により破棄。 ・文書管理を徹底し、個人情報が紛失・漏洩することがないよう厳重に管理。 ・パソコン内のハードディスク上に個人情報を保存しない。 ・マイナンバーの取り扱いについては必要に応じて講師からお預かりしたのち、開封せずに(公財)多治見市文化振興事業団本部に渡す。 ・登録団体の情報公開については各団体に個別に確認の上、情報をきめ細かく管理。	適正(普通) 2点	指定管理者の基本方針に基づいて適正に管理している。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし	0点	
	3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入(290,735,790)÷支出(289,135,298)＝101% 学習館・図書館を含む	105%未満～100% 4点	【参考】 ①指定管理料6,697千円 ②施設独自の収支(人件費、本部経費等除く) (1)収入/文化事業収入9千円、雑収入18千円 (2)支出/管理運営費273千円、文化振興事業費294千円
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	1. 窓口での相談や問合せ、講座でのアンケート、市民活動団体への視察及び情報収集などを通じて、お客様の要望や団体の課題に関する情報の把握についても、講座企画へ反映させた。現在は、団体の活動を継続していく方法やネット活用に関する要望・問合せが増えてきたことから、仲間の作り方や動画を使った活動紹介による方法などに関する講座を企画し実施した。 2. 来所者の声を取り入れ、6階カウンターにてお茶・お水の販売サービスを実施。 3. 寄付ボランティアの普及を目的としたチャリティ「ぼるとマーケット」を継続して実施。 (ぼるとマーケットによる多治見市への寄付額開始から6年間では24万円を超えた。) 4. 来館されたお客様に閲覧しやすくなるためボランティア・補助金情報掲示コーナーでの情報提供を実施。 5. 多治見市まちづくり活動補助金を活用してもらうための方法として、新たに「エントリーサポート講座」を開催。 ⇒参加した団体のうち3団体が多治見市まちづくり活動補助金の獲得に成功した。そのほか、多治見市まちづくり活動補助金のPR展示を実施したほか、窓口相談対応を強化、申請書の書き方やプレゼン資料づくりのレクチャー等を行う。 6. 子ども食堂活動の増加に伴い、文化スポーツ課および子ども支援課と打ち合わせを行い、窓口対応方法についての見直しを行った。また、公民館とも情報共有を図り、連絡体制の強化を図った。 7. 近隣のNPOセンターとの交流を図り、様々な活動の事例などの情報を獲得し、問合せや相談の際に参考するようにした。	期待以上 8点	1.2積極的に情報収集を行っており、寄せられた意見や視察時等に発見した課題点等、利用者のニーズを把握し、事業に反映させることができている。引き続き、より一層充実した支援を行ってほしい。 3.継続した活動を実施することにより、成果を積み上げることができている。 4.きめ細やかな情報提供を行い、団体活動の継続を寄与している。 5.まちづくり活動補助金の周知につながっており、講座に参加した団体の申請書、プレゼン資料は他の団体と比べてレベルが高く、結果につながっていて大変良い成果がでていた。 6.申請から認定、活動開始までの流れがスムーズになり、利用者の利便性の向上につながった。 7.他機関と交流し情報交換等を行う事で、知見を広め団体活動の支援に反映させることができている。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	なし	期待以上 5点		苦情等が寄せられる前に利用団体や利用者の希望に添えるような事業展開を行っている。
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	1. 6階フロアロビー「ぼるとスカイラウンジ」の整備を実施。 歓談しやすく、居心地の良い環境をお客様に提供するため、コロナ対策緩和に伴い、食事をとれるように整備。 テスト期間に高校生などが活用し、市民活動団体の情報等に触れる機会を創出。 2. 多治見まちづくり活動補助金エントリー支援窓口の充実を図り、補助金活用のための手続き等に関する支援を行った。 3. NPO法人の活動などの情報を有するとうしん地域活力研究所との連携を強化。企業と市民活動団体をつなぎ、様々な活動の活性化へつなげていけるよう運動事業企画を策定した。 4. 職員のスキルアップを図り、活動団体の問合せにもしっかりと対応できるよう研修に参加するなどの活動を行った。 5. 視察によって得た情報収集の成果および類似する活動に関する問合せ等への対応方法について職員間で情報共有を図った。 ⇒窓口での相談力の強化につながる。 6. ホームページの情報更新力を向上させる取り組みを進める。⇒ホームページからの問合せが徐々に増加している。 7. 「青色パトロール隊員不足対策」をはじめとする相談に対し、ぼると多治見案の提案を行う。	期待以上 13点	1.気軽に利用しやすい施設となるよう、環境整備が行われており、市民活動団体の啓発につながっている。 2.まちづくり活動補助金の活用に向けた相談対応を行い、団体の活動活性化に繋がっている。今後も引き続き、きめ細やかなサポートを行うほか、申請書作成に特化した講座を開催するなど、団体のさらなる活動活性化に向けた取り組みを行ってほしい。 3.行政機関だけでなく、民間事業者との連携も進めており、より幅広い視点で団体の活動支援を行うことができている。今後も引き続き、さまざまな民間事業者と連携を強化し、市民活動活性化に繋げて欲しい。 4.5各種研修や現場視察等を通して得た知見を活用し、団体へのアドバイス等が行われており、団体の活動活性化に貢献できている。 6.ホームページの情報を新しいものにより、外からのアクセスを増やし、活動の啓発につながっている。 7.市の事業について別の視点からの提案を行う事で、新しい発見につながっている。		13点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	遅れ・不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	0点		
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計86点	極めて良好

5. 来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項等、評価委員会において出された意見